

国際交流 NEWS

コロナ禍だって国際交流！

Vol.9-2022

- 国際交流 NEWS 第9号
- 1 2021年度 個人留学報告（カナダ、タイ）
 - 2 2021年度 Online 国際交流、研修
 - 3 グローバルカフェ 特別編
 - 4 お知らせ coming soon

個人留学！

感染症対策を行い、夢や目標に向かって個人留学を実現した学生。Online 交流で異文化を知り、気づきを得た学生。2021年度も多くの学生が国際交流活動に参加しました。そんな学生たちの声をお届けします。

カナダ・バンクーバー

ぐんま赤尾奨学財団から奨学金を頂き、1か月間カナダに留学することができました。留学中は語学学校に通い、ネイティブスピーカーの自然な英語に触れることができ、自分の今までの英語学習の傾向や課題などに気づかされました。また、他の国からの留学生との交流は今後の英語学習の意欲向上にもつながりました。コロナ禍の留学ということもあり、ホームステイ先の急な変更や、出入国時の手続きなど、より柔軟な対応力が求



められる留学だったと感じます。しかし、初めてのことばかりで戸惑っていた私に日本にいる家族や友人、語学学校のクラスメイト、ホストファミリーなどが常に気にかけて、手を差し伸べてくれていました。そのような方々のおかげで、人の温かさを改めて感じ、カナダの美しい自然に囲まれながらのびのびと学習することができた貴重な経験となりました。 看護学科4年 学生



タイ・バンコク

春休みの一か月間、タイ語を勉強するためにタイ留学しました。平日は語学学校で勉強し、休日は外に出かけてタイの文化を肌で感じました。コロナ禍の留学と初めての一人でのホテルステイということもあり、行く前は、感染してしまったらどうしようと不安もありました。しかし、タイは学校やデパートの入り口で体温測定、個人が消毒をこまめに行う等、日本よりも感染対策がされており、安心して過ごすことができました。食事は近くの屋台やフードコートで安くて美味しいタイ料理を食べました。飛行機で出会った人と観光に行ったり、大学の国際交流で出会った友達に再会したりと楽しい思い出ができました。実際に現地に行かなければ体験できないことが沢山あり、今回の留学は貴重な経験となりました。 薬学科5年 学生



発行：国際交流センター 【Center of International Affairs】 2022. 5. 12

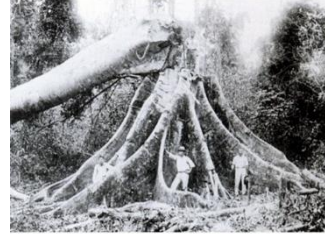
9号館 1F tel/fax : 027-352-7006 e-mail : uhw-kokusai@takasaki-u. ac. jp

Online 交流しました！

ブラジル - Angela 先生

2021 年度最初の国際交流イベントとして、アンジェラ先生をお招きしてブラジルの歴史や医療制度、文化などについて学ぶ online 国際交流を行いました！日本では考えられない、ブラジルのエピソードを数多く聞くことができました。その中でも特に印象深かったのは、ブラジルでは1歳の赤ちゃんのミルクにコーヒーを混ぜる、という話です。このエピソードは、私も含めた参加者の過半数がフィードバックで取り上げていました。今回は英語での国際交流だったため、開始前は少々不安でしたが、日本語でのサポートがあったため、しっかりと内容を理解することができました！このイベントに参加して、ブラジルについてとても興味を持ちました。一刻も早くブラジルに行けるように、コロナの収束を願っています。

The “Bairro da Liberdade” in São Paulo is home of many Japanese descendants.



生物生産学科 2年 学生

オーストラリア - シドニー在住看護師

オーストラリアに住み、日・豪の看護資格を持つ直美さんと Online で交流しました！オーストラリアでコミュニティ・在宅ケアコーディネーターの仕事をしている直美さんのお話はたくさんの驚きと学びがありました。その中でも特に興味深かったのが、オーストラリアの看護学部での授業についてです。オーストラリアは日本と同じく島国ですが、季節は反対で気候に特色があって、その国特有の植物や動物、虫がたくさんいます。そのため、オーストラリアで看護師をするには、そこにしか生息しない毒蛇や毒グモなどについて、よく知っておく必要があるため、大学では本物の蛇を使って行う講義があるそうです！！また、それらの毒に侵された人のために大きな病院には必ず血清が準備されているそうです！医療以外にもたくさんのオーストラリアでのお話を聞き、良い刺激になりました。また、コロナウイルスやワクチンについてのディスカッションや、オーストラリアと日本でのコロナへの考え方の相違についても話は及び、とても有意義な国際交流でした。

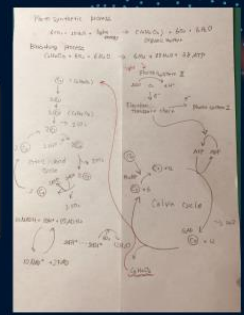


薬学科 3年 学生

ベトナム - ホーチミン医科薬科大学学生

ホーチミン医科薬科大学の学生と交流しました。パワーポイントを使って、実際にある技術を参考に世の中にあつたらいいなと思う、言い換えると、創作の発明品を考えて発表するというを行いました。私は、英語は得意科目でしたが、実際に英語でパワーポイントをつくったり、英語で説明したりすることは初めての体験だったので、とても刺激的でした。他にも、ベトナムの文化と日本の文化について、紹介しあったりしました。ベトナムの風土や町並み、行事など、現地の学生の紹介を聴くことで、より身近に感じることができました。英語で何かを説明する機会は、あまりないので、少し大変だと感じましたが、ホーチミン医科薬科大学の学生は、英語でスラスラと、そして堂々と説明していたので、素晴らしいと思いました。

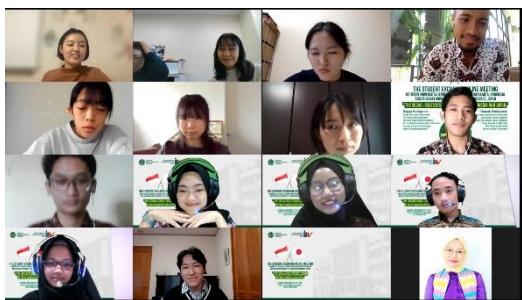
Post a picture or a drawing if available (not required if not possible)



薬学科 2年 学生

インドネシア - ウンジャヤ大学学生

インドネシア ジョグジャカルタの学生達と ZOOM でつながりました。今回の交流では、お互いの大学の特色や都市の文化の違いについて知ること、各国の社会課題について他国の視点や文化の中からヒントを得て、改善策を話し合うというテーマでした。日本の社会課題として、自殺者の増加。インドネシアの社会課題としてプラ



スチックごみの大量廃棄が議題となりディスカッションを行いました。私は今回が初めての参加でインドネシア訛りの英語がうまく聞き取れませんでした。ボディランゲージや先生、先輩方の助けも得て、楽しく交流することが出来ました。交流後は日本のアニメの話で盛り上がり、緊張も解けてフレンドリーに会話をして終わりました。参加以前は英語で話す機会が少なかったため、良い刺激を得られました。

社会福祉学科 2年 学生

タイ - タマサート大学学生

学術協定提携先であるタイタマサート大学、順天堂大学、イリノイ大学の看護学生とオンライン交流を行いました。Covid-19の予防対策と実習体験の披露を含む日常生活をテーマに意見を交換しました。海外の人に向けた英語でのプレゼンは初めてで緊張しましたが、伝わっていることがわかったときはとても嬉しかったです。また、他国の学生の発表を聴くことで価値観の違いに気づき、広い視野を持つことの重要性と、もっと英語が話せるようになりたいと感じました。その他、コロナの予防対策について、タイでは多くの活動制限がかけられていることを知りました。そのような状況下でも、タマサート大学の学生たちは、自主的に多くの活動をしていると聞き、その行動力に感激しました。海外に行けるようになったら、実際に現地に行って彼らと色々な話をしたいです！

看護学科 2年 学生



過去の受入れプログラムにて

オランダ - ハンゼ大学学生

オランダの Hanze 大学で理学療法士を目指している Ellie さんにオランダの文化や医療体制、海外での生活についてお話を伺いました。特に学校での授業が興味深く、自ら考える、動く機会が多く与えられていました。地域の人に協力を得て診断を行う授業、先生は少し手助けをするだけで学生が中心となって考える授業などがあります。また、チームで課題等を行うときは、契約書にサインし、時間、期限を守るなど、他のメンバーに負担がかからないよう工夫してありました。食文化に興味があったので、質問コーナーでたくさん質問しました。じゃがいもはマッシュにして食べることが多い、様々な国の食文化を楽しめる地域があるなど大陸の国ならではの特徴がみられました。今回の交流でさらにオランダに興味を沸きました。将来、写真で見た景色や建物を自分の目で見に行きたいです！

健康栄養学科 3年 学生

Hanze ならではの教育

- Entrepreneurship - “起業家精神”
- 様々な学士号プログラムを混ぜて構成されるプロジェクトチーム。研究やクライアントを重視したプロジェクトが課題として1年に2回ほど出される。
- ネットワーキング、財務スキル、そして創造力が鍛えられるようなカリキュラムになっている。
- 体の部位毎に各学期のカリキュラムが組まれている
- 例) 一年生の2学期は上半身に関する全ての病理学、診断方法、治療方法など勉強する。
- オランダでは開業権があるので、開業する時に必要なスキルを習得できるように、2週間に1回、各自で患者を見つけ、3人のグループで問診、診断そして治療を行う。

Online 研修しました！

長野県看護大学の学生と zoom で交流し、共に JICA 駒ヶ根訓練所の講師の先生や JOCA の方々による研修で語学や異文化、SDGs について学んだ。特に印象的だった異文化理解では、物乞いの青年に物資をあげるかあげないかについて意見を出し合った。皆からは「金銭面のみでは根本的な解決にならない」「一度手助けしたら最後まで支援しなければいけないのかという不安」、「その場しのぎでも金銭的援助をすべき」という意見が出た。また、「持っている人があげ、持っていない人がもらう」のが当然であるイスラム教的な考えがあると知った。自分達の考えを押し付けてはならないし、しかし、自分の国の文化もあるのが事実で、異文化を知る重要性が分かった。

薬学科 3年 学生



<https://www.istockphoto.com/>

グローバルカフェ特別編

2021年8/20に行われた、「コニーと一緒に国際交流」は、愛子さんと盲導犬のコニーちゃんに実際に大学に来ていただきました。愛子さんは網膜色素変性症という治療法が確立されていない遺伝性の病気により、徐々に視力が失われていき、現在は両目の視力を失ってしまっているそうです。日常での苦勞、どのような過程で視力を失っていったか、またその時の感情などをお話いただき、それがいかに苦しく大変な事だったのかがひしひしと伝わってきました。しかし、それらの経験を乗り越えた明るさで「何かのために勉強するのも良いが、楽しんで勉強していると何かを達成できるのも良い」という愛子さんの言葉には感銘を受けました。自分の行動を振り返る良い機会になりました。



医療情報学科 4年 学生

Comming Soon ☆

県内在住の外国の方々と交流します！！

5月20日(金) 16:30~18:30 10号館 207 講義室

国際協力でサッカーを教えにジンバブエ、バングラデシュに出向いた経験者と県内在住の外国の方々が健大にやってきますよ！前半は国際協力の話とワークショップでレアな海外体験談を聴いたり、知らなかった事を知ったり…。後半は外国の方々とのレクリエーションを予定しています。楽しいゲームには言葉も不要かも？大いに交流しましょう！！

☆詳細はお気軽に国際交流センターまで問い合わせ下さい。